



REINANZAKA SCOUT CLUB



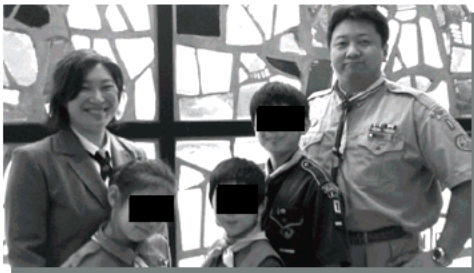
2012年
10月5日号

発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3 電話：03-3583-0403
ホームページ <http://reinzaka-sc.cocolog-nifty.com/>
<http://reinzaka-sc.o.oo7.jp/>

No.43

「ちかい」を立てたら一生スカウトだ！

ベンチャー隊 隊長 鈴木隆一



2012年9月より港第1団ベンチャー隊隊長を任命されました鈴木隆一です。私はリーダーとして1997年頃に、この港第一団に入団しました。それ以前は千葉県船橋市の団で小学校2年生からカブスカウトに入隊し、25歳でボーイ隊の隊長を経験し活動しておりました。

この港1団からリーダーとして来て欲しいとの要望があり、初めて霊南坂教会へ来たのが前団委員長の杉原さんの講演会でした。その頃、スカウト活動に悩んでいた事が講演内容でビックリし、日本連盟の中核におられる方の講話が自分の団内で聞けるという贅沢な恵まれた環境でスカウト活動が出来るという事に驚きました。

また、この団の恵まれている事は何よりも霊南坂教会の施設が利用できるという事でした。集会やキャンプなどが出来る幼稚園の園庭、雨天時に集会できるCS教室、スカウト倉庫まで、以前の団では地域の公民館を借りて場所を確保したり、倉庫を探すのも毎年考えたりと、比較にならない程の事でした。

この霊南坂教会で初めからスカウト活動をされている方は、「当たり前」と思っている方がいるかもしれませんが、日本全国の中で少数だと思います。それだけ、恵まれた環境で私達は活動しスカウト運動をしているのです。

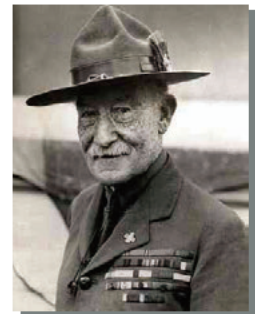
私事ですが、この15年の間にガールスカウトのリーダーでした妻の充代（旧姓；古谷）と結婚し、息子二人と娘一人を神様より預りました。今では、子供達もそれぞれ霊南坂スカウトとして活動し、土曜、日曜と霊南坂教会に通っております。家族全員がスカウトなので共通の話題が持て、貧乏ですが幸せに暮らしております。

また、この9月に長男がボーイ隊に入隊し、入隊式に小崎公平隊長と隊旗を握りスカウトの「ちかい」を立てました。この光景を見ながら自分自身の「ちかい」を立てた頃の事を思い浮かべ、目頭が熱くなりました。

最近の子供達は忙しいと言われておりますが、私も忙しかったです。私の中学校時代は生徒会長をしながら、バスケットボール部のレギュラー選手で、毎日夕方からは塾へ行き、帰宅すると家庭教師が待っていました。土・日曜はボーイスカウトのキャンプに毎月最低2回は行っていました。時には、土・日にバスケの試合があり、夕方からキャンプに参加して朝抜け出して試合に行く事も多々ありました。そんな忙しい中でもスカウトの仲間達と夜だ

Be contented with what you have got and make the best of it.

Last Message to Boy Scouts



ベーデン・パウエル卿の言葉

**自分が得たものに満足し、
それを最善に活用しなさい**

けでもキャンプが出来る事が喜びでした。今考えると、両親が車で送迎してくれたので出来たことと感謝しています。

よく御父兄から、「スカウト活動をさせたいのだが、クラブ活動や塾が・・・」と相談されます。両立させる事が将来の「より良き社会人」へ近づけると思います。本当に無理ならば、完全にスカウトを辞めたり、1年間休んだりするのではなく、気分転換に参加出来るときに参加するスカウトでも良いのではないのでしょうか。なぜなら、スカウトは一度「ちかい」を立てたら一生スカウトなので、ロングスタンスで考えるのがスカウト運動です！



霊南坂スカウト発足時にスカウトとして加わり、以降永年にわたり指導者として奉仕された杉原正兄がBS団委員長を後任に引継ぎ現役を引退されました。

長きにわたり指導者として精励されたことに感謝して、9月8日(土)恵比寿でスカウトクラブ主催の慰労会を開催しました。同期組をはじめ杉原兄に教えを受けた多くのスカウト、デンマザー達が集い感謝の言葉と共に思い出話で楽しいひと時を過ごしました。記念品として返信ハガキの杉原兄へのメッセージをアルバムに纏めて贈呈しました。



65年を想う 名誉団委員長 杉原正

東京港第1団(東京第4隊)の発隊当時は太平洋戦争敗戦直後であり、日本は焦土と化し、かつ混迷している時代で青少年にとっても夢や希望を描けない、まず今日を生きることによって日々を過ごす時勢でした。

当時、日本は連合軍によって占領され、統治されておりGHQで働いていた20代の米国人マーティン・B・ウィリアムスさんと日系2世の今井襄二さんが霊南坂教会を訪ね、小崎道雄牧師に教会でのスカウト活動を勧め、スカウト活動が赤レンガ建物の鐘楼にあるスカウトルームを拠点に始まりました。

「神と国とに誠を尽くし」で始まる霊南坂スカウトの団歌に「歴史輝く霊南坂に」があり、この「歴史」の意味は何か、をOB・OGと一緒に唱いながら改めて考えさせられました。

「歴史とは、現在と過去の対話である」英国の歴史家E・H・カーの言葉を思い起こします。同時に歴史を学ぶためには、過去を知るための澄んだ「まなざし」が必要です。

65年の区切りとして、その歴史を考えると、「言葉の人」と言われたドイツ・ヴァイツゼッカー元大統領の言葉、「我々が歴史から学ぶのは、我々が何をなすべきか、ということではない。我々が歴史から学び得るのは、我々が何をよく考慮しなければならないか、ということである」という言葉を重く受け止めています。

65年からの次の新しい歩みを始めるにあたって、先人たちや草創期に関わられた方々の想いをしっかり受け止め、チャーチスカウトとして「我々が考慮しなければならないことは何か」を課題として取り組んでいかなければならないと考えています。

私のスカウト時代は、土曜日はスカウト活動、日曜日は日曜学校(教会学校)での楽しい学びの日々でした。教会にあるスカウトとして日常のスカウト活動や野外での諸活動の体験から、いつも神様に見守られて育っていることを知りました。後に続くスカウト達がこの事を覚え、日々感謝できるチャーチスカウトであって欲しいと願っています。

敢えて付言すれば、スカウト時代に覚えた聖書のみ言葉「汝(なんじ)の若き日に、汝の造り主を覚えよ」を次の時代のスカウトに受け継いで欲しいと強く思い、指導者や保護者、またスカウトクラブの皆様のご理解とより良いご協力を願っております。

スカウト時代に覚えた“Once a Scout, Always a Scout”「一度スカウトになったら、いつもスカウトである」にあるように、いつもスカウトでありたいと思い、できることでお役に立つことがあれば「永遠のスカウト」として歩いていきます。

スカウトクラブの日頃のご協力に心より感謝し、団委員長退任にあたり慰労の会を開いてくださり、身の余るメッセージを多くの仲間からいただきましたことに感謝いたします。



杉原兄が1991年から21年間開催した「ボーイスカウト研修会」の内容と他の出版物への寄稿文を纏めた355ページの重厚な書籍「導かれ支えられ」を出版されました。慰労会出席者には、ご自身から直接手渡されました。

リタイアしたらヨットで世界を旅しないかと提案されたのが55歳の時。それまでにも何度か船酔いに悩まされていた私には楽しい計画とは思えませんでした。が、元気なうちにこんな旅が出来る事、そして主人にはヨットの経験も長くスキルもある。世界一周等と大袈裟に構えずいつでも旅を辞めることを条件に2010年定年と共に計画を進めることになりました。

スペインで船を購入。2011年6月にコスタデルソルのアルメリマルから念願のクルージングをスタートしました。バレアレス諸島を始めに、コルシカ、サルディニア、シチリアへ、イオニア海を渡りギリシャ、エーゲ海に入りイスタンブール、南下してトルコのディディムまで。エーゲ海の強風には疲れました。全てが順風満帆とはいきませんでした。4ヶ月半、6000キロの旅を無事終え帰国しました。

そして地中海2年目のクルージングを4月にスタートし6月末までEMYR(東地中海ヨットラリー)に参加。参加艇33艇、欧米が主ですがNZ、AU等100人程の仲間達とのクルージングです。個人ではとても立ち寄ることが難しいシリア、レバノン、イスラエル、エジプトまでの予定でしたが残念ながら今回は中東の政情不安も重なり、キプロス、イスラエルにしか行くことが出来ませんでした。しかし楽しい仲間達との交流は貴重な体験となりました。

そんな旅の中、イスラエルで突然ブラウニーの頃の記憶が蘇りました。ヨットクラブの家庭に夕食に招かれ、息子さんがシースカウトの活動をしていると聞かされた時、私の記憶に間違いがなければ霊南坂にもBSとは違った制服を着たスカウト達がいた事。そしてマ

リアの受胎告知教会を訪れた時には、クリスマスのおし物でイエス誕生時のオペレッタを演じたことが思い出されました。

私にとって長年GSで培った、「スカウティングはゲームである」「Be Prepared(備えよ常に)」の精神はこのクルージングでも十分に発揮されています。スカウト活動に感謝です。



皆さんがこの原稿を読まれる9月頃にはアドリア海のクロアチアをクルージングしていることでしょう。そして来年もう1年地中海を旅し大西洋を渡りカリブ海へと旅は続く予定です。楽しみながらそして安全に、を心がけて。

是非ブログもご覧いただければと思います。

ブログ <http://pub.ne.jp/ksek0408/>

2012.8. ギリシャ、ピレウスにて

天ぽう
家

日本ペイント

営業時間
11:30~14:00
18:00~21:00 予約
定休日
日・祭日

〒140-0004
東京都品川区南品川4-6-3
電話・FAX: 03-5460-5519

高五 大が調理します

関山真理子さん

可愛いブラウニーからガールスカウト、レンジャー、そしてリーダー(1971年頃)と、スカウトの道を歩み続けて、おばさまになった今なおスカウティングをステキに実践中のOGです。

加藤理夫兄 を偲ぶ



7月7日中国「上海」で召天された「カト4」こと加藤理夫兄は夫人と共に無言の帰国をされました。9月7日(金)教会で夫人と加藤兄の末弟、スカウトOB・OG及び小学校時の同級生など36名が集い故人を偲びました。

追悼

加藤理夫さんを偲ぶ 柳 健一

加藤さんの訃報は突然でした。10年来、業病と戦いつつ、上海で活躍されている事は漏れ聞いていました。また、先年、白井君、戸田君両ご夫妻と倉持君が上海で加藤さんと出会い旅行を楽しまれた話と、加藤さんは少し痩せられたが、相変わらずダンディーに決めている写真を拝見して、心配は薄れていたため、突然の訃報に驚いた次第です。

加藤さんとの出会いは1954年だったと思います。私の1年先輩で、とにかく元気で各種イベントに積極的に参加されていました。

翌年のクリスマスの大人の礼拝で、スカウトがイエス様の生誕劇を披露する機会がありました。加藤さんと私達は「3人の博士」役でしたが、彼のアイデアで馬小屋へ導く星を作り、礼拝堂の2階席にいる教会学校の同年の人に、懐中電灯で星を照らすよう頼みました。

さて、劇が始まり、3人の博士の出番となって、「あの星に導かれて・・・」と2階席を指差しましたが、星がいつこうに光りません。依頼した友人が隣人との会話に夢中で、すっかり忘れてしまったためでした。彼は劇のあと、忘れた友人に鉄鎚を食らわしたようです。脂汗を流した思い出の劇です。

高校生の夏・1959年に、第10回世界ジャンボリーがフィリピンで開催され、東京4団(現港1団)から、安積、加藤、小林、木下、柳の5名が参加しました。全国のスカウトとリーダー500余名が、白山丸という戦後引き揚げ船として活躍した4000トンの船で、8日間かけてマニラ港まで行きました。その航海は大変印象深いものとなりました。

私達の船室は、船首甲板下の、船倉を急改装した畳の部屋でしたが、海が荒れると、船首は空中に飛び出し、それから波に突っ込みます。絶えず上下するエレベーターの中にあるようなもので、ほとんどのスカウトが船酔いして、汚物を撒き散らし、部屋の中は酸い匂いが充満していました。そこで、加藤さんと数人で相談し、毛布を持って、目の届かない船尾の甲板に逃げ出し、数日間こっそりと甲板で夜を過ごしました。小さな船でしたから、手を伸ばせば波がつかめるような場所でしたが、海風に吹かれて良い気持ちで熟睡できたことが昨日のように思い出されます。こういう面白く少しやんちゃなアイデアを持っている人でした。一言でいいますと「ガキ大将」でしょうか。かれと接した者は皆、異口同音にそのように申します。

加藤さんと過ごした少年期の日々を思い返すと楽しい話が山のように出てきます。いつかゆっくりと語り合いたかったですが、今は小林隆君、大浜良友君や今田さん、飯田さん達と語り合っているでしょう。

心からご厚誼を感謝いたします。安らかにやすみ下さい。

御礼申し上げます 加藤正夫

先日、兄を偲ぶ会には多くのボーイスカウトの関係者の方や同級生等、ご多忙中にも関わらず大勢の方が出席して頂き亡き兄に代わり御礼申し上げます。兄は

70歳で人生を終えましたが、上海ではレナさんと言う最愛の伴侶にも恵まれ、心安らかな最期を迎えられたと思います。弟の私としては、兄の死を受け入れるには辛い想いでしたが、反面、我がままな兄を最後まで見届けて下さったレナさんには本当に感謝しております。偲ぶ会にレナさんも出席して頂き皆様にご紹介出来た事は兄も喜んでくれていると思います。

末筆になりますが、生前兄がボーイスカウトの活動で皆様大変お世話になりました事を厚く御礼申し上げます。

印刷業者卸し専門店・一般のお客様も大歓迎

チラシ
カタログ
リーフレット
パンフレット
名刺
DM
その他広告&
販売促進ツール
ハイグレード
格安
デザイン・印刷
企画・デザイン・印刷総合

有限会社 セブン・センス CALL 03-3583-0877

〒106-0044 東京都港区東麻布2-3-6-2F

FAX 03-3589-5181

Mail info@7sense.co.jp





夏のキャンプ

ビーバー隊 鈴木優斗

ぼくのキャンプの思い出は、めしもり山のハイキングです。あるくのがたのしかったし、山はけしきがいいからぼくは山がだいすきだ。みんなのおとまりや、ゲームたいかimotoもとってもたのしかった。ぼくはボーイスカウトがだいすきだ。

ビーバー隊 川野風音

8月3日から5日までカブ隊とビーバー隊のキャンプに行きました。一番たのしかったのは、みんなで「おにごっこ」をしたことです。

一番たいへんだったのは、しし岩とうげからめしもり山までの道がたいへんでした。でも、みんなでキャンプした3日間はすごくてたのしかったです。

ビーバー隊 山菅裕一郎

1日目の寝る前に、カブスカウトのみんなと竹のけん玉とゲームをしたことが楽しかったです。チームのみんなとがんばったので、僕たちの1組が優勝できました。2日目のハイキングは、行きはたいへんだったけれど、かえりはスイスイと歩くことができました。

カブ隊 北 啓矢

くまスカウトにとって最後のキャンプでしたが、ぼくが一番に残ったのは、きもだめしです。去年のキャンプではきもだめしができなかったもので、今年できてうれしかったです。きもだめしで歩いている時、前に隊長がいると思っていたのに、急に「曲がってください!」と言われ



たのでビックリしました。進んでいくと目の前にかべがあって、またビックリしました。横の方でガサガサと音が聞こえたのでだれかいると思ったら、デンコーチが出てきて、ビックリはしなかったけれどちょっとこわかったです。

その後、テントに寝に行きました。テントを組み立てた時は、早くここでねてみたいと思っていたので、わくわくしました。テントの中では、木村くんとりゅうとくと増田くと公晴くと、遅くまでゲームの話とかしていました。テントでねるのは初めてだったので、楽しくてこうふんしてしまいました。ねぶくろでねるのを楽しみにしていたけど、かなり暑かったです。朝6時起床だったので、ね不足でとてもねむたかったです。いろんな経験ができて、カブで最後のキャンプだったのでよけい楽しいキャンプでした。

カブ隊 増田友紀

今年はぼくにとってカブ隊で最後のキャンプでした。

キャンプ場についておやつ作りを自分たちでやりました。ビーバー隊のレモネードはおいしかったのでまた飲みたいです。ぼくの作ったホットドックはパンのところをこげてしまったのでソーセージだけ食べました。

1日目の夜はお楽しみ会をしました。けん玉は昨年30回くらいやってやっとできたけど、今年1回でできたのですごうれしかったです。ピンチヒッターにも選ばれ

てうれしかったです。緊張したけれどその時も1回でできたのでほっとしました。よかったです。夜はねむれませんでした。

2日目はめしもり山に登りました。登り道はずっと暑い日なが続きたいへんでしたが、途中とちゅうで字の書いてあるカードを見つながら歩きました。最後の頂上までの一本道がきつかったけれど、頂上に着いたときは最高でした。頂上でおべんとうを食べました。そして夜は昨年できなかったきもだめしをやりました。コースは簡単で、懐中電灯なしでも行けました。ボーイスカウトのデンコーチが「ワァー」と言って走って来ましたがこわくありませんでした。そして最後にデンリーダーをみんなでおどろかせました。夜は、くまのみんなと一緒にテントで寝ました。暑かったです。

3日目のご飯は僕の好きな中華丼でした。それから畑に行って、白菜と大根をとりました。白菜をとったのは初めてです。大きいのがとれました。僕は1組の組長をやりました。みんな元気で、なかなか静かになりませんでした。最後は少しづつ早く行動できるようになり、よかったです。来年はボーイスカウトなので全部テントで寝ます。早くボーイになってジャンボリーに行きたいです。そしてきく章をとりたいたです。



初めてのボーイ隊キャンプ

ボーイ隊 井上稀翔

僕はボーイ隊のキャンプに初めて参加をしました。ビーバー隊のときからキャンプには行っていましたが、ボーイになって荷物の多さにビックリしました。寝袋、ロールマット、食器などの自分の使う物は全て持っていかなければならないので、行き帰りの重さがつらかったです。

今年のキャンプの目的は、「キャンプ生活を通して自然を学び、友情や協調の精神を学ぶ」でした。それと僕の気持ちの中での目安がありました。それは時間をキッチリと守って迅速に行動をすることです。僕は目的や目安を達成するように頑張りました。キャンプの自然の中で急な雨の対策をする大切さや、仲間と一緒に活動する中でみんなと合わせていくことの大切さを学びました。ご飯を食べるスピード一つでも周りを見て行動しました。そして最初は少し行動がおくれていましたが、3日目ごろから班の中で時間に余裕ができました。そうなるとうどん生活が便利になるようにと班のみんなが自主行動をし始めて、1日目よりとても便利で楽しい生活を送れるようになっていました。

日頃は、台風などが来たときは家の中で過ごしていれば安全でした。しかし、いざ災害が来たときにどうしたら良いのか分からなかったのですが、このキャンプを通して備えるということと、身を守るという大事さを学びました。これからも仲間とたくさんのことを体験して、いろいろなことができるスカウトになりたいです。

ジョイントベンチャーキャンプ2012に参加して ベンチャー隊 可知俊太郎

僕は今回、ジョイントベンチャーキャンプ2012に参加しました。このキャンプは、ボーイスカウト東京連盟とアメリカのデブスバレーという場所のスカウトがともにキャンプをする



というものです。そして今回は山中野営場で行われ、期間は7月23日～7月28日までの4泊5日でした。

今回はキャンプといっても野営ではなく舎営だったために、ルームメイトのアメリカ人のスカウトや日本人のスカウトとたくさん会話することができました。班はすべてで4つあり、日本人約5人とアメリカ人3名で構成されていました。部屋割は班ごとではなく班を崩して割り振られていました。今回のプログラムは、ハイアドベンチャーといえるとても高度なことをやりました。初日は開会式だけでした。このときは班員ともまだあまり話せていませんでしたが、アメリカ人は前日から入っていたためその日は富士急ハイランドに行っており、彼らが帰ってきて初めて会ったときに、班員とはずっと前から話していたように仲良くなれました。幸いなことに僕は英語が使えたため、初日から班のアメリカ人の子やルームメイトのアメリカ人とも多く会話す

ることができました。

2日目は、富士の樹海探索です。樹海の中をハイキングしながら行くのですが、ここでも多くアメリカ人と話せ、「おれは日本の湿気が苦手だ」などという面白いことも聞かせてくれました。その後樹海の中にある風穴に行きました。風穴の中はとて寒くて暗く、夏だとは思えないほどでした。

3日目は富士登山です。今回は須走口からのぼりました。本8合目にある山小屋で1泊し、早朝から登り始め富士山頂でご来光を見ることができました。この富士登山はとて辛かったですがいい経験になりました。

4日目は山中湖で筏を作り、実際に浮かべ山中湖を横断する、というものでした。うちの班が一番作るのが遅かったですが、みんなで筏の上から湖に飛び込んだり、泳いだり、とても楽しかったです。僕は、英語が話せたので外人ともコミュニケーションがとれてとても楽しかったキャンプでした。

このキャンプはジャンボリー等の関係があり、ベンチャーの間にはもう参加できないかもしれませんが、外人スカウトとのプログラムにまた是非参加したいと思いました。

ど
ん
し
ん
SHOT BAR

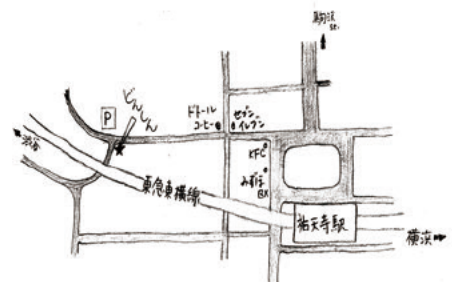
日曜定休
PM 6:00~
目黒区祐天寺 1-22-2 2F
03-5725-1788

OB 大槻将嗣 の店です

DON'T THINK, FEEL,

お一人でも気軽に
お立ちください
詳しくは、電話かホーム
ページで

<http://www.donshin.jp>





65周年記念 団キャンプ

Brリーダー 池田 涼子

8/3～7、例年より1泊多いBrは3泊4日、Jr以上は4泊5日「戸隠ガールスカウトキャンプ場」で行いました。

今回のキャンプで、私が1番印象に残っているのは3日目の出来事です。この日のメインイベントは「戸隠神社ハイキング」。キャンプ場を元気に出発し、遊歩道を通り「随神門」へ。当初、随神門で終了予定でしたが、スカウトの希望で「奥社」まで行くことに。Brも「行きたいー！」と張り切っていました。凸凹道や石段が続きましたが、全員奥社まで辿り着き、達成感を感じていました。リーダーよりも元気に楽々下山していたスカウト。随神門まで降りるとさすがに疲れたようで、急遽バスで帰りました。途中、休憩しながらも約3時間歩きましたが、スカウトにとっては良い体験になったと思います。その日の夜中、突然の集中豪雨。リーダーは焦りましたが、スカウトは前日のハイキングで疲れ、爆睡していました。見回りに行くと、タープは倒れ…雨の恐怖を痛感しました。

Brにとっては初めての野外キャンプ。Jr以上はリーダーのように

よく働き、成長を感じました。

今回のキャンプでたくさんのことを学び・感じ・経験できました。私たちに感動の涙を与えてくれた戸隠。色々な方々の協力・支援があったからこそ、戸隠で団キャンプができ、実現できたのだと思います。ありがとうございました。

2012年の夏キャンプ 光野果穂

私は、2012年の夏キャンプに行きました。場所は、戸隠ガールスカウトセンターです。

そこは、昼間は山と自然の景色が楽しめます。季節は夏なので、夜に天の川が見えたり、夏の大三角形などが見えました。私が一番たいへん

だったのが3日目の夜に大雨が降って、トイレにめぐみちゃんといこうとして、すごい雨で危ないくらいだったから、リーダーテントにめぐみちゃんといこうと行って、鈴木リーダーといっしょにトイレに行きました。

一番心に残ったのがハイキングで、奥社までは行けなかったけど、みんなでハイキングに行けてよかった。夏キャンプ、サイコー！また戸隠に行きたいです。



六本木で味わう沖縄の魅力・古酒と沖縄料理

島唄楽園

SHIMAMOTA PARADISE

* 今田富士雄・富江の後を継いで道雄・文江兄妹でやっています *

ホームページ <http://homepage1.nifty.com/myers/>

六本木店 東京都港区六本木7-14-10 誠志堂ビル4階
TEL:03-3470-2310 FAX:03-3401-9321

美海店 東京都港区南青山1-15-18 リーラ乃木坂1階
TEL:03-5771-1303 FAX:03-5771-1303

ランチ11:30～14:30(月～金) 島酒タイム17:00～24:00

霊南坂スカウトクラブ 告知板

教会バザーに

スカウトクラブも出品します
10月27日(土)10:30 開場

出品内容

ルバーブジャム 500円 西郷
杏仁豆腐 1個 200円 朱村
パン コーンパン3個 200円
山パン 300円 小田島
モカムース 150円 西谷
クッキー 200円 浅田

現役ガールスカウト、ボーイスカウトもいろいろ出品しています。是非おいでください。

ボーイスカウト研修会 お知らせ

11月10日(土)14時~16時

会場：霊南坂教会 1階ホール

テーマ：「明日(将来)のスカウティングに向けて」

講師：杉原正氏

東京港第1団名誉団委員長

ボーイスカウト日本連盟顧問・

先達

主催：ボーイスカウト東京港1団

共催：霊南坂スカウトクラブ

研修会終了後17時まで皆様の

交流の場として懇親会を開催

致します。

これからの予定表

10月27日(土) 教会バザー

11月10日(土)ボーイスカウト研修会

12月8日(土)スカウトクリスマス礼拝

12月24日(月)キャンドルサービス

2013年

2月23日(日)スカウトサンデー

スカウトクラブ総会

役員会だより

スカウトクラブの月例役員会では以下の事項について検討しています。

*興味をそそるお楽しみ会、役立つ講習会などの計画。

*2013年のスカウトサンデーでのスカウトクラブ提供のエンターテイメント選定について。

*総会のもち方について~どうしても多くの皆さんに参加してもらえるか?

皆様のご意見、アイデアをお寄せ下さい。

スカウトクラブのホームページは

<http://reinanzaka-sc.cocolog-nifty.com/blog/>

随時更新して、新しい情報を提供しています。

ぜひ、ご愛用ください。

編集後記

スカウト達は夏キャンプで貴重な体験を沢山しました。関本さんはご主人と地中海をヨットクルージング。

皆さんも、それぞれの夏休みでスカウティングをされたことでしょうか。

最近は大雨、竜巻など頭上の気象状況に注意を払い、足元の地震、津波にも備えなくてはなりません。

キャンプなどで鍛えたサバイバル技術を発揮できるよう「そなえよ常に」、歩きやすい靴を履き、水とロープと携帯電話を持ち歩く事を習慣にしていかがでしょうか?

(ナイフは・・・?・・・ご注意を)

田中新二

ご意見・情報はeメールで:stp@nifty.com

霊南坂スカウトクラブ役員会

会長	小崎忠雄 霊南坂教会役員会議長
副会長	田中新二 クラブ会報編集長
副会長	西郷崇子
会計・団	大槻敬太郎
会計	小林孝江
会計	浅田きよみ
会計	檜垣君子
総務	倉持雅人
総務	戸田健次郎
書記	塚田洋子
書記	西谷芳美
書記	小田島典子
通信・団	矢澤宏子
広報・団	清水康輝
広報・HP・blog	澤田明秀
広報・HP・blog	臼井純一
教会・団	古谷久代 ガールスカウト団委員長
監事	日下部英一
監事	柳 健一

AJ-SEP チャリティーコンサート

11月30日(金) 18:00 開場

森山良子

アフガニスタンスカウトのために歌う

会場：霊南坂教会 礼拝堂

主催：AJ-SEP

後援：アフガニスタン大使館

ボーイスカウト東京 港第1団

ガールスカウト東京都第4団

霊南坂スカウトクラブ

皆様のご協力によりチャリティー券は完売しました。ご協力に感謝いたします。

TODA CLEANERS

戸田クリーナーズ

六本木店 〒106-0032

東京都港区六本木 1-3-41 (アークヒルズサイド1F)

TEL/FAX : 03-3583-0450

柿ノ木坂店 〒152-0022

東京都目黒区柿ノ木坂 3-4-9

TEL : 03-3422-5538 FAX : 03-3421-3034